

# 県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

## 〔1〕 おもな動き

### 【推計人口】 …… 11月

令和6年11月1日の推計人口 1,250,185人  
世帯数 558,983世帯

参考：R2.10.1 現在国勢調査総人口：1,312,317人、  
世帯数：558,230世帯

#### 1. 推計人口

令和6年11月1日現在の推計人口は、1,250,185人で、前月(1,250,705)に比べ△520人となった。

市部では、長崎市(△325)、五島市(△54)などの9市で減少し、雲仙市(+61)、大村市(+43)など4市で増加した。

郡部では、佐々町(+4)、波佐見町(+3)の2町で増加し、川棚町(△23)、東彼杵町(△22)などの5町で減少し、小値賀町では増減なしだった。

自然動態は、出生数622人、死亡数1,564人で△942人、社会動態は、転入者数3,054人(県内転入を含む)、転出者2,632人(県内転出を含む)で、+422人となった。

#### 2. 世帯数

令和6年11月1日現在の世帯数は、558,983世帯で前月(558,734)に比べ+249世帯となった。

(注)

・異動人口推計=R2国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

### 【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 9月

1人当たり現金給与総額 257,099円  
対前月比 3.4%減少  
対前年同月比 5.5%増加

#### 1. 賃金

9月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は257,099円で、前月に比べ3.4%減少し、前年同月に比べ5.5%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は254,411円で、前月に比べ0.1%増加し、前年同月に比べ6.0%増加した。

特別給与額は2,688円で、前年同月に比べ、1,021円減少した。

#### 2. 労働時間

9月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は142.1時間で、前月に比べ1.8%増加し、前年同月に比べ2.2%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は131.8時間で前月に比べ1.4%増加し、前年同月と比べ、1.9%減少した。

所定外労働時間数は10.3時間で、前月に比べ8.4%増加し、前年同月に比べ4.6%減少した。

#### 3. 雇用

9月の常用労働者数は221,062人で、前月に比べ、0.7%減少し、前年同月に比べ1.5%増加した。

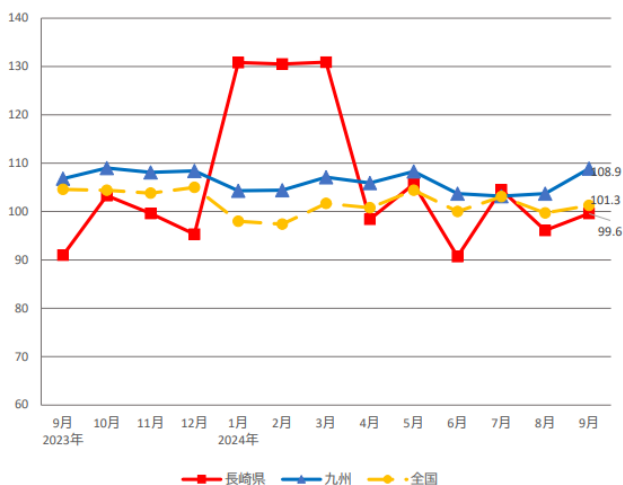
**【鉱工業生産指数】** .....9月

令和6年9月の鉱工業生産指数

(2020年=100)

| 区分  | 季節調整済指数 | 前月比 (%) | 原指数   | 前年同月比 (%) |
|-----|---------|---------|-------|-----------|
|     |         |         |       |           |
| 長崎県 | 99.6    | 3.6     | 104.0 | 8.8       |
| 九州  | 108.9   | 5.0     | 114.9 | 0.7       |
| 全国  | 101.3   | 1.6     | 104.2 | △2.6      |

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



2024年9月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が99.6で対前月比は3.6%の上昇、原指数は104.0で対前年同月比は8.8%の上昇となった。

業種別にみると、鉱業、化学工業、情報通信機械工業など11業種が上昇し、その他製造業、電子部品・デバイス工業の2業種が低下した。

○主な上昇業種

| 業種       | 前月比 (%) | 上昇に寄与した主な品目 |
|----------|---------|-------------|
| 鉱業       | 68.4    | -           |
| 化学工業     | 52.3    | -           |
| 情報通信機械工業 | 32.3    | -           |

○主な低下業種

| 業種          | 前月比 (%) | 低下に寄与した主な品目 |
|-------------|---------|-------------|
| その他製造業      | △11.3   | -           |
| 電子部品・デバイス工業 | △9.7    | 半導体集積回路     |

上昇業種、低下業種は全業種13業種から選定している。

寄与した品目については、主要業種7業種のみ掲載している。

(注)前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

**【長崎市消費者物価指数】** ..... 10月

総合指数(R2=100)

109.8

対前月比

0.5%上昇

対前年同月比

2.5%上昇

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、109.8で前月比0.5%の上昇であった。

主な上昇要因は「食料」の0.9%上昇、「交通・通信」の0.6%上昇、「家事・家事用品」の1.3%上昇、「教養娯楽」の0.5%上昇であった。

前年同月比は、6月は3.3%上昇、7月は2.8%上昇、8月は3.1%上昇、9月は2.7%上昇と推移した後、10月は2.5%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は108.6で前月比は0.5%の上昇であり、前年同月比は2.2%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目

|         |       |
|---------|-------|
| 家具・家事用品 | 1.3 % |
| 食料      | 0.9 % |
| 交通・通信   | 0.6 % |
| 保健医療    | 0.6 % |
| 教養娯楽    | 0.5 % |
| 被服及び履物  | 0.3 % |
| 諸雑費     | 0.2 % |
| 光熱・水道   | 0.1 % |
| 住居      | 0.1 % |

同水準の費目

|    |        |
|----|--------|
| 教育 | ±0.0 % |
|----|--------|

**【家計(長崎市・勤労者世帯)】** .....10月

消費支出(一世帯当たり)

468,604円

前月比

188,948円増加(67.6%)

令和6年10月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は468,604円で、前月比67.6%の増加、前年同月比は65.9%の増加であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は101.3%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。